

新宮木協コミュニケーション誌

No.120 1/1

2008年(平成20年)
(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL.0735-22-6105(代)
FAX.0735-22-6107



新宮

木協だより

<http://www.shingu-mokkyo.jimusho.jp> e-mail:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



新春初市



1月15日 (火)



ホームページ随時更新中

昨年の初市に並べられた優良材

新宮木材協同組合

検索



新年のご挨拶



新宮木材協同組合

理事長 玉置 研二

新年明けましておめでとうございます。

今年はずみ年。好き嫌いの分かれる動物ですが動物好きの私としては愛くるしくて大好きです。

その昔神様が元日の挨拶に訪れた動物達を順番に十二支にすることをした。ところがネズミがネコを騙して元日ではなく挨拶は二日と教えたためネコは行けずに十二支に入れず今でもその恨みから追いまわしているとか…。そのネズミはというと神様への挨拶の際に先頭でゴールしようとした牛の背から飛び降りまんまとトップの栄冠

をGET!とまあ何かずるがしこいイメージが先行しがちですがその一方、吉兆の証とすることもあり色々です。にもかかわらず今年一年が皆さまにとつて良い年であるよう心からお祈りいたします。

さて、話は変わりますがインターネット上で興味深い記事を見つけました。少々旧聞にはなるのですが長野県と埼玉県の三自治体で行われた調査で木質校舎と非木質校舎での健康面、心理面の与える影響の調査です。詳細は省きませんが落着いて生活できると答えた生徒、校舎を自慢できると答えた生徒とともに木質校舎の方

の数値が上回っています。他にも教師からの回答も含めて木質校舎に軍配が上がっています。この調査はサンプル数が少ないなどの不足面も感じますが継続調査ということでも今後も見守っていきたいと思っています。(興味のある方は日経BP社のGreen Plazaのサイトを参照ください。)

また、最近のハウスメーカーも内容、実情はともかく木質住宅に人気が集まっている状況やじわじわと浸透してきた感のある地元の材で家を建てようキャンペーン、さらに首都圏のある公園ではスギ間伐材で造った木製レンガを敷き詰め好評と、このように最近では木への回帰を感じさせるシーンが目や耳に多く入ってくるようになりました。まだまだ皆様の仕事の

上での実感は少ないかもしれませんが少なずつですが確実に木への想いが人々の中に戻ってきています。この機会を大いに活用したいものです。

この地球上で唯一といてもいい「再生可能の資源」である『木』を扱っている誇りをもってこれからも頑張っていこうではありませんか。組合としても皆様方のアイデアや意見を生かす事業にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

さて、昨年より立ち上げたIT支援事業に対しては組合員皆さまのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今後はホームペー ジを含めさらに発展、充実させてゆきたいと考えています。今年も組合員皆様にとつてよい年でありま

すようお祈りして新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

謹賀新年

本年もよろしくお願
申し上げます

新宮木材協同組合

組合員一同



新社長インタビュー

(株)新宮原木市場 代表取締役社長

川崎 俊一氏

昭和五十三年より原木役員を勤めこの度八月の取締役会に於いて新社長に就任された川崎俊一氏から、貴重な時間を頂き、様々なことについて質問しました。

(事務局系川以下系)

お忙しいところ恐れ入ります。早速ですが、生年月日から教えてください。

(川崎社長※以下社) 一九四四年(昭和十九年)十一月二十二日です。

(系)家族構成について教えてください。

(社)妻 加余子・長男 康弘、次男 和貴、長女 友記子です。それぞれ家庭をもち孫は四人おります。

(系)初めて木材に携わったのはいつですか?またそのきっかけは?

(社)昭和三十八年、高校卒業後本格的に家業に取組みましたが、祖父が創業した製材所を日頃から手伝っていたため、自然の流れで(仕事に)就きました。

(系)趣味は?

(社)ゴルフとその後の宴会ですね(笑)。そして家庭菜園。また、業界の諸先輩

方からの影響で地域活動にも参加しております。

(系)座右の銘は何ですか?

(社)温故知新です。

(系)日常から心がけていることはありますか?

(社)健康管理と人との繋がりを大切にすることです。

(系)業界は長期に渡り低迷を続けておりますが、この厳しい中での特取りは大変だと思われれます。今後の展望をお聞かせください。

(社)古い中国の諺に「水を飲む者はその井戸を掘った人の恩を忘れてはならない」(今の幸いを考え、先人に感謝すること)と申しますように昭和四十一年当社が設立されてから四十一年が経過しました。その間、諸先輩方が熊野地方の木材業の中核であることを肝に銘じ経営を続けて参りました。この精神を忘れることなく後輩に繋いで行かねばならないと思っております。

▼熊野材の真価を問うた「熊野木まつり」

大きな思い出としては、昭和五十二年、熊野材の真

価を問うということでは、天皇皇后両陛下をお迎えし、「熊野木まつり」を開催しました。当時の原木市場は優良材が少なくなっており、その理由は昭和三十九年に北山村のいかだが完全停止し、交通手段の発達に伴い、良材が県外に流出したため、低質材しか地元に残らないという状態になりました。この状況を危惧した業界の大先輩の瀬古潔新宮市長が那智勝浦町で行われた全国植樹祭の前日に両陛下をお迎えし、又他地区からお客を募り、優良材を展示して即売会を行い熊野材の優秀性を世に知らしめました。

▼改革への挑戦!

変化と利益

あれから時は流れ、現在の業界は益々厳しい状況となっております。市場の業績は芳しくない状態の中、林業は駅伝経営といえますように社



長というタスキが私に回ってきたわけですが、まず私はひとつのスローガンを掲げることとしました。「改革への挑戦!変化と利益、変わる事によって利益を生み出す」ということです。しかし、それを実現するためには、原木の役員だけでなく、どうにもならないこともあります。お客様のニーズにあった商品開発を各木材業者がいろいろな面で研究しなければならぬでしょうし、又優良材のみならず、今特に大きな問題となっているありくい材等低質材が市場に出せないようになってくる状況も打破しなければなりません。魅力ある市場にするにはどうするか、熊野材自体は他の地域にはない光沢を持ちヤング係数も高く優秀なのだから、熊野材の需要拡大を目標に各方面の方々と論議を繰り返して検討を重ねております。

▼新規事業の立上げ

「皮剥ぎ事業」

そして改革の一つとして新規に立上げるのが皮剥ぎ事業です。各製材所も業界非常に厳しい中人員を減らしながらも、一部(皮剥ぎ)行っています。この作業を当市場が行います。そうすることで製材所の方は、空いた時間を営業努力

にあてられる上、市場も利益を得ます。又木皮が一つのところに集まるという利点もあります。当事業により新しい方針を模索できるのではないのでしょうか。ここでもう一度この木材業界が昔のような活気を取り戻すことは、等しく地域の活性化に繋がると考え、社長を勤めていきたいと考えております。

(系)本日はどうもありがとうございます。ありがとうございました。

退任のご挨拶

久保 勝靖

私は生死に係る病気(心臓病)をわずらいましたので総会に於いて御迷惑を省みずして、自ら辞任の方針をかため川崎氏をはじめ新執行部の方々に後事を託すことといたしました。

まだまだ体調が万全ではございませんので、ものをいえば病いの言葉として皆様に御迷惑をかけかねません。体調が戻ったと実感できるまで、現在は静かに感謝の気持ち述べさせていただきます。ありがとうございます。

木霊塔建立供養式について

草加 浅一

新宮木材協同組合の年中行事の一つとして行われている木霊塔の供養式は昭和二十六年五月に創設され、昭和三十八年より新宮商工祭の協賛行事として毎年十月十五日に開催されている。

この行事は杉本喜代松翁の発想によるものと伝えられる。伐られて倒れる樹木の発する断末魔の悲鳴を耳にするそまびと 杣人の心情とその木を伐ることにより受ける木材業者の恩恵を想う時、木の霊に感謝し供養

するのは至極当然のことである。

この供養式は組合員の献木した杉または松



或いは松の長さ四米の角材に墨痕淋漓、木霊塔の三文字を認め、組合長、市長、東牟婁振興局長、献木者の挨拶、本広寺の御住職の読経などありその後は新緑会員

の木遣音頭、餅投げ等をした後、会館二階で親睦会を催す。

この行事は最初本広寺山内で挙行され、木霊塔をトラックに載せて市内を廻り、お寺へ戻り本堂横へ建てる形をとっていたが、昭和四十四年から四十六年までは木材会館近くの小公園で、昭和四十七年、木材会館竣工に伴い会館前庭で行っている。

但し、昭和二十九年から三十六年までの八年間及び昭和六十三年の合計九年間は開催を中止していた。従って昨年(平成十九年)で第四十八回目にあたる訳である。

木霊塔の建立されている前庭は東面して中

央に木霊塔、向って左は杉本翁の半身像が建ち、明治二十四年四月竣工の「貯木場開堀碑」が並び、右側に山本増男理事長の「百周年記念之碑」が建つ。



これは明治十四年十一月木材業者の有力者により新宮商法会議所が出来て以来数えて百年になる昭和五十六年十一月を期して「...明治、大正、昭和の三代

にわたる疾風怒涛にも耐えぬき...」と組合員の努力を讃えている。木霊塔の石台の裏面には初代山下幸之助氏以下の献木者名がぎざまれ、昨年は新宮原木市



場である。木霊に感謝し木霊をなくさめ、木霊塔をまつ業者の供養式を行っている組合は寡聞にして全国余りないようだ。

シンポジウム

「熊野の森林・林業・木材産業の

これからを考える」
〜川上から川下までの地域連携を求めて〜

去る十一月二十九日(木)午後二時より三重県熊野庁舎五F大会議室にて紀南林業振興協議会主催のシンポジウム「熊野の森林・林業・木材産業のこれからを考える」〜川上から川下までの地域連携を求めて〜が開催されました。主催者挨拶の後、三重県森林協会(県林業技術普及協会)専務佐々木 太氏が講師となり「最近の森林・林業情勢と林業政策について」をテーマとし、現在に至る森林の状態・立木の価格・労働賃金の推移等様々な資料提示とともに、林業再生における一つの提案事項として地域ぐるみで自発的な森林作りの取り組みを説明し、又森林所有者より立木(森林出資)を受けた団地森林(出資された立木の集合体)を元に会社法人が企業的な林

業経営を展開し、経営利潤を出資者(森林所有者)に配分するという団地法人化(所有と経営の分離)を唱えました。

基調講演終了後、休憩を挟み「最近の森林・林業情勢と林業政策について」というテーマで、パネルディスカッションが開かれ、森林組合及び熊野材流通の立場から熊野市森林組合長・熊野原木市場理事長の朝尾高明氏、熊野材製品の安定供給の立場から熊野地区木材協同組合長の野地洋正氏、林業機械化等による低コスト生産をめざす立場から、素材生産業を営む花尻木材の濱口千穂氏、林野及び施業集約化の実践者としての立場から紀宝林業研究会会長の荘司健氏、最後に県行政の立場から熊野農林商工環境事務所副所長の明石一郎氏がそれぞれの立場から

現在抱えている業界の逼迫した状態や打開策、またそのため業界全体がおこなわなければならないことを説明した後、聴講者の質問となりました。多くの方が熱心に自分の業界復興のための思いや質問をされていきました。私見ではありますが、川上から川下までの業界全体での景気の回復を考えた場合、お互いの立場を理解した上での利益追求を前提とし、その中で賃金や労働力等の補助として行政を利用することで心一つに業界が盛上りがつてゆくのではないかと考え、聴講に見えられた方々の熱心な姿勢に改めて身の引き締まる思いがしました。尚、興味をお持ちの方は事務局に資料がございまして、お気軽にご連絡下さい。

(事務局 糸川)



会場風景

住宅着工激減

耐震強度偽装問題を受けた改正建築基準法が昨年六月二十日に施行され、建築確認の手続きが厳格化したことが大きく響き、住宅着工が数ヶ月連続で大幅減少となっている。年率換算(季節調整済み)で見た着工戸数は過去最低水準の七十二万戸に落ち込んでおり、景気に悪影響を及ぼす懸念が広がっている。特に狭い敷地に広いマイホームを建てる工法として人気の「木造三階建て」を直撃している。例えば着工後の小さな設計変更の再申請や壁の量を多くしたり配置の見直しなど、手間を嫌いならや鉄骨

への変更を提案している設計事務所も出始めているためである。国交省では十一月中旬に同法の施行規則を改正し、軽微な設計変更を認めるなどして問題の収拾を図りたい考えだが、建設業界内には「審査機関の能力やマンパワーが不足している」として影響が長期化するとの見方が多い。結果的に転居計画の変更や想定外の出費が施主の負担増となり他の消費行動への影響を及ぼしている。

※ 全ての組合員が一致団結して対峙しましょう。

帯鋸目立て事業

新宮製材工業協同組合

稲垣 幸二

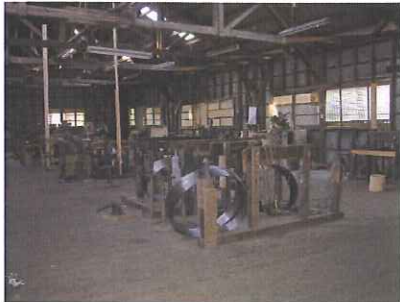
昨年五月より、新宮地区における若手帯鋸目立て技術者の育成を目的に目立て事業を始め半年が経過いたしました。



目立て技術のある程度身につけるには最低二年あまりの月日を要するようですが、現状当初の計画より取り扱う鋸の数が少なく、未だに若手の雇用ができずに熟練の技術者一人だけ加工を行っております。近目中に定款変更の認可

がおりる予定で、認可がおりしだい新たな組合員を募り、取り扱い数を増やす計画であり、また現在、尾鷲の業者に目立て加工を依頼している四・五件の製材所も本年四月より当組合にて取り扱うようになり、四月頃をめぐりに若手の雇用を計画しております。

新宮地区において一日も早く若手目立て加工技術者の養成が達成できますよう組合員皆様のご協力をお願いいたします。



木材副産物を取り巻く現状

紀南木材副製品㈱代表取締役 三島 正人
タオ熊野協同組合理事長

組合員の皆様には日頃より紀南木材副製品ならびにタオ熊野協同組合の運営に多大なるご協力ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

過日(十一月二十七日)

開催いたしました紀南木材副製品㈱の第二十七期定期株主総会には多数の株主の方にご出席いただいた上、すべての議案にご承認をいただき滞りなく終了いたしました。収支の面におきまして営業損失になりましたが営業外収益をもって黒字の決算をだすことができました。これも偏に皆様のご協力の賜物と感謝をいたす所でございます。

さて、木材副産物を取り巻く現状ですが、オガ粉につきまして、建築基準法の改正による住宅着工数の激減に伴い発生量の減少に加

えバイオマス燃料と言う新たな用途が加わり、全国的な不足状況が続いております。当社の販売業績をみましても供給が必要に迫り、

以前の流れておきており、口が溢れるような心配はなくなり、販売量は減少しましたが販売価格は上昇気味であります。

パーク堆肥につきましては、公共事業の減少、新たな法面緑化基盤材の参入により昨年五月以降の販売数は、前年比激減しており、野工場土場は現在バンク状態にあります。様々な方面に営業をかけておりますが、工事自体の減少、あまりにも破格な相場に役員一同頭を抱えております。新宮港二期工事の緑地帯へのパーク堆肥の使用を市・県に陳情に行っていますが、具体的な回答は今のところありません。また、現在今年春頃より稼働予定の紀州製紙のバイオマス燃料用として粉砕生パークの価格、数量を交渉中であります。交渉がうまく進めば今後過剰在庫の問題は解決できるわけであり、なかなか厳しい状況であります。

公害防止協定による佐野区との野積み問題、スーパーセンターからの臭気による再三の苦情、またタオ熊野協同組合・紀南木材副製品連結による収支の改善、借入金の返済等かかえる問題は多く、問題の解決に向け役員一丸となり取り組んでおります。木材需要、製材工場の減少は全国的であり、今後もオガ粉、パークの発生量は減少することを踏まえれば木材副産物の明るい兆しが見えつつあると思われ、しかしながら現状は大変厳しい状況であります。木材副産物を取り巻く現状をご理解いただき、タオ熊野協同組合ならびに紀南木材副製品に対し、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

2007

木なに生る言の葉



「木材関連書籍
よりの抜粋」

その一

(先号(八月十日)で御紹介した「ウッドマイルズ」から抜粋しました。)近年、都道府県産材認証制度を導入する都道府県が増えており、二〇〇五年には三二道府県が実施している。これは地域材利用に関して林務部だけでなくオール県庁が取り組み、「公共工事の土木資材の県産材利用」「県産材を使った木造住宅への助成」など多様な支援策が導入されている証拠である。各県庁が主導する政策の中で「県内産のものを県内で利用しよう。」という発想が出てくるのは自然だろう。しかし、それが一般県民に十分に行き届く魅力的なメッセージになっていないのではないかとというのが私(筆者)の考えである。「県内産の産品を県内消費しよう」―地産



池消―というのは県内の消費者に対して県内の山村地域の活性化をはかる為の消費行動を呼びかけるというコンセプトである。国産品愛用運動と同じで時に域内の人達には強力なメッセージになる場合がある。しかし域外の大消費地への訴求力はまったくくない。そこで私(筆者)が強調するのは、県域内の木材利用のPRポイントにウッドマイルズという環境的要素を組み入れる事である。そうするとそのメッセージは県域にとどまらず県境を越え、更に世界へのメッセージとなる。

「ウッドマイルズ」とは呼んで字のごとく木材(wood)が運ばれてきた距離(miles)、即ち「木材の産地から消費地までの距離」を示す。「私の家の柱はどこからきたのだろう?」「木材の出処をたどり、その木材が生えていた山から、自分の家にやって来るまでの輸送過程での問題点、諸

要因を考える。これがウッドマイルズということですからしてウッドマイルズ運動の具体化とは「木材の通

ってきた道」を追いかける事によって、その素性を明らかにしながら(明らかにならぬことも含め)更に具体的な環境負荷(CO2排出量)を示すことである。これらによって「木材製品の信頼性」に関する情報を提供するとともに、「環境負荷の小さい木材製品の購買意欲」を喚起し、地域材の供給者と消費者との利害を一致させることがこの運動の趣旨だ(P140)

今日的視点からは、多くの指標の中から『自動車や船舶など何で輸送したかを考慮し輸送過程で排出されるCO2の量によって輸送の環境に与える影響を示す(ウッドマイルレージCO2)』が重要視されると思います。本来の環境負荷問題はもとより、搬送手段の燃料高騰の現実も踏まえ、費用対効果の観点からもより具体的な研究成果を期待したいものです。



その二

山中清澄さんよりご紹介いただきました西垣林業発行の広報誌「神籬」HIMOROGI(高級な業界誌です)の文中に「森愛なる人」を連載されている高田宏氏の作品「木に会う」より抜粋させていただきます。

◇建築家の磯崎新さん(先頃亡くなった黒川紀章さんと並んで世界に誇る日本の建築家)が或るゴルフ場のクラブハウスを設計した時、エントランスホールに大きな杉丸太を四本、諏訪大社の御柱(おんはしら)のイメージでたてた。その時の話で磯崎さんが写真まで持ち出して説明したのが木を運ぶむつかしさだった。巨木の陸送は、昔も今も大仕事である。現代の技術が

くり出している特殊大型の運送車輛をもってしても、予想を上まわる苦勞があったという。直径九十センチ、長さ二十一メートルの杉四本を見つけ出すのも大変だったが、それだけの丸太を運んでくるのが出来るかどうか、この建築の成否

の鍵であったということだった。(以上ウッドマイルズに関連して)「

◇二人の長谷川さん

長谷川如是閑(後に紹介する)は木場深川の材木商の生まれである。「ある心の自叙伝」によると「私の生まれた(明治八年)頃は江戸時代の佛(おもかげ)がそっくりそのまま残されていて、江戸から東京への移り変りを何処吹く風と知らぬ顔の一区域だった。木場は全地域が材木の堀で・・・豪商だったらしい。

その証拠に自宅はお手のものの材木をふんだんに使った造作であつたらしく、・・・その時経師屋が天井を見てその神代スギの天井板一枚の値段で、自分の家が二つ三つ建つといったという。神代スギの天井板一枚で家の二、三軒が建つというのはすごい話だが、木場の材木商の財力をよく物語っている。

長谷川萬治氏(一八九一〜一九七六)が、長年にわたって収集した木を日本住

宅・木材技術センターに寄付して管理を依頼したものに銘木標本館があるが、ここに収められた約千点の銘木の原木は時価に換算出来ないらしい。銘木標本館のパンフレットには銘木とは何かという目安が記載されている。

(1) 材面の鑑賞価値がきわめて高いもの (例) もく板、糸まさの板)

(2) 材の形状が非常に大きいもの (例) 大径丸太、長尺一枚板)

(3) 材の形状がきわめてまれなもの (例) サクラツツジ)

(4) 材質が特にすぐれているもの (例) 木曽檜)

(5) たぐいまれな高齢木 (例) イチイ)

(6) 入手がなかなか困難な天然木 (例) 天然カラマツ)

(7) たぐいまれな樹種 (例) ビヤクダン)

(8) 由緒ある木 (例) 春日局ケヤキ)

(9) その他きわめて高価な木

萬治氏は長谷川萬治商店、通称長谷萬をおこした人である。木場の材木商に奉公して三十二歳で独立、三井物産の木材を扱うことで成功していった。あまり人の扱わない樹種を扱う事に能力を発揮した。大好きな木はケヤキで、自分の家の内装は全部ケヤキ造りにしたという。おそらく如是閑の家の子代杉の天井板に匹敵するものだろう。その財力はとどまることを知らず、ちなみに松下幸之助氏華やかにし頃に全国長者番付日本一にもなっています。

「昨年のキーワード」

賞味期限偽装問題

▼ 全国土産物品売上高 No.1 を誇りお伊勢参りのもう一方の楽しみであった銘菓「赤福」の偽装問題は大きな社会的関心事でした。全容は以下十月十八日付朝日新聞の「天声人語」を掲載しますのでご判断を仰ぎたいと思います。

(前段一部カット)

▼ 小欄にとって、赤福の後味はほろ苦い。八月、北海道銘菓「白い恋人」の賞味期限偽装を取り上げた。経営者が赤福の伝統を目標にして



いたことを紹介し、こう書いていた。「今年創業三百年の赤福の餅はごまかせない『製造日限りの販売』だ。伝統にはそれぞれ、理由がある」▼ 読者の皆様から「赤福にはもちろん、天声人語にも裏切られた」というおしかりや、「天声人語も犠牲者だ」とのご意見をいただいた。いずれにしても老舗の看板に目が曇り、公式サイトの言い分をうのみにした不明は恥じるほかない▼ おもえばここ三十年ほど、赤福の評判は冷蔵庫の中で保たれていたわけだ。風味に自信があるなら、冷凍品がまじる事実を堂々と明かせばよかつた。銭勘定の下心をうそというあんこで包んでは、伝統さえも凍え死ぬ▼ 赤福は、長旅で疲れたお伊勢参りの旅人を癒やす餅から出発したと聞く。名前の由来は「赤心慶餅」。偽らない心で、善男善女の幸せと一緒に喜ぶ志である。菓子としての素朴さ、作り手の愚直さ。そうした持ち味のあれやこれやが営利の厚氷の中で震えている。

悪事に乗り遅れば更に

厳しい指弾が待っていると、自分達を保護するはずの上司の意欲や能力に信頼をおけなくなる。P. Fド ラッカー(※3) 著「すでに起こった未来」より

二律背反(アンチノミー)の二面性ということなのでしようか。また、現実社会の中にはこのような声が多いのも事実です。「赤福」で至福を味わった人で食中毒になり病院にかつぎ込まれた人はほとんど耳にしないではないか。と、しかし御同輩、抑えておさえて隠すより顕わらなはなし“というではないか。ここは「赤福」

経営者の意識改革が最優先です。ありのままに、あるがままに。そして、とっこ生きていた、襖(みそぎ)の期間を終えました。一部御指摘の「黒服」をぬぎ捨て一新した純然たる「赤福」として甦りました。今後は事実をありのままに公表いたします。もちろん、法治国家の一員としてのコンプライアンス(※1)、トレーサビリティ(※2)には厳粛に対応いたします。赤福ファンとしてはあの適

た、たしかに間違った行為を公にし、その是非をはかる事は、たとえ義務でないにしても一つの権利である。まして法をおかしている時は当然である。しかし、相互依存の倫理に照らすならば、内部告発の倫理的な扱いは急に難しくなる。上司や組織の行為が法律に反し、あるいは常軌を逸しており、黙っているわけにはいかなない場合がある。重罪の場合には報告しないことが共犯となり、刑事責任を問われる。しかし重罪でない場合はどうか。内部告発を奨励する事は、上司と部下との信頼関係を弱める。部下として

度に上品な甘さの銘菓の一日も早い再登場を願うや切なり。

それにつけても御紹介した「天声人語」。かつては受験生必読の名コラムとして世に知らしめましたが、今回の自己犠牲者よばわりするうろたえぶりは一時的にせよ地に陥った感があります。情報素材の峻別を怠ったつけはあまりにも大きい、といわざるをえません。
対象を括目(かつもく)して待つ

「街道をゆく」がその典型だが司馬遼太郎さんは実際にその場に足を運び、対象の前に立ち、何かを見て、何かを感じることを大切にしていた。司馬さんと違って現代の日本人は「よく見る」ことが苦手である。たとえば医者患者取り替え事件がなぜ起こるかといえ、それは医者が患者という人間をまともに見ずに、カルテという情報でしか見ていないのである。報道機関も、国も掲げる「公正・中立・客観な報道」という物言いのおかしさに、一向に気づいていない。本来「よ

く見る」ことは自分の主観と徹底的に向き合うことで、どんな人もそうしているはずなのに、見たこと感じたことを無理に拙速をいとわず情報化し客観化しようとする。あまりに情報化を進めてしまうと、人は「混同」をおこし、「客観性」の幻想に捕われ、後に残るのは一見柔らかそうそうでも中身はガチガチの頭ということになる(養老猛氏の文章より引用) マスコミ人よ心せよ。明治、大正、昭和を生きた抜いた大言論人で「天声人語」の先達でもある長谷川如是閑翁(※4)をはじめ歴代の天声人語子の怒りの顔が見えるようです。

(※1) **コンプライアンス**
法令をよく守る事。

(※2) **トレーサーピリテ**
イ) 在来食品の履歴追跡の意、建築用語のトレース(線引き)からの拡大解釈の意味合いにあり。

(※3) **ピーター・F・ドラッカー**
二年前九六歳の誕生日を八日後に控え、現代社会最高の哲人とされ、かつ実践的なマネジメントの

父とされるP・F・ドラッカーが逝った。彼は人を大切にすると社会、その社会に貢献する組織、自己実現する一人ひとりの人間について、無数の洞察と金言を遺してくれた。多くの著作の中でも「現代の経営」「断絶の時代」は、60年代に於ける青春の道標でした。イギリスの名宰相ウインストンチャーチルに見出され、欧米先進自由主義の経済政策に多大なる影響を与えたとされています。特に民営化の先達であり鉄の女宰相といわれたマーガレットサッチャーはその経済政策でしばし助言を求めたといわれています。

(※4) **長谷川如是閑(一八七五〜一九六九)**
明治、大正、昭和を通じて日本のジャーナリズムの理想の鏡」とも評せられた大言論人。幅広い視野で一貫したリアリズムを展開した、孤高の独創人ともいわれ、後世の知識人(丸山眞男)等に多大な影響を与えた。著書に「ある心の自叙伝」等がある。

▼サブプライムローン

について

世界は新しいタイプの金融不安を経験している。それがサブプライムローンである。

(意味) アメリカの金融機関が過去に破産したり担保を差し押さえられたりなどした比較的信用力の低い人に貸し出す住宅ローンのことで優遇金利を「プライム」という事に対して、その補助的なローンということから「サブ」がつけられていく。通常のローンに比べて審査基準はゆるいが金利は高い。

○(現状とながれ) 現在では住宅ローンを借りる人の15%がこれを利用していきるといふ。最初の数年は金利を低く設定した商品が多く、例えば三十年ローンの場合、当初の二年間は低い金利が設定されているが三年目以降は10%以上の金利を支払う場合が少なくない。その結果返済が滞る人が増えて、不良債権化する傾向が強くなっている。これまでに表面化しなかったのは購入した住宅の価格の値上



がりが続く、借り手は住宅の価格上昇分を担保にして普通の住宅ローンである「プライムローン」に借り換える事が出来ていたが、最近では米住宅価格の上昇分が止まり、借り変えに失敗して返済に行き詰まる事例が増加、金融機関はサブプライムローンを買取って証券証券化し、機関投資家等に販売してきたが、これらの証券化商品の価格は急落、銀行などは評価損や売却損の計上を余儀なくされている。

○(先行き不透明な今後)

サブプライムの借り手の多くは今年3月にかけて金利が跳ね上がる金利更改期が到来する。放置しておくとなれば、返済金利を凍結の方向と報じました。猶予期間を設けてその間に新たな対症療法を見つけ出すということですが、但しこうした証券化商品の資産証券化(質の劣る多数の貸し出し債権を組み合せ、返済財源として発行される証券)は、その複雑さから証券の時価

評価は難しく、どの程度の損失処理で済むのか先行き不透明感がつきまとうとのことです。次号の時期にこの問題の残滓が拡大しておれば取り上げます。

この項十二月初旬までの「日経」「日経ビジネス」「日経金融」の各新聞より抜粋、引用させていただきました。

▼図書紹介

◇ 昨年一番よく読まれた(売れた)本は「女性の品格」(坂東眞理子著)だそうです。同書は女性の「装い」から「生き方」まで様々な角度から「品格」にアプローチしていますが、独断と偏見を混えていわせてもらえれば「秘すれば花、秘せざれば花なるべからず」という世阿弥の言葉(風姿花伝)に端的に(特に精神性)女性の品格が内包されていると思います。(P76)この言葉は「女性」に対する男性側からのあこがれと必要にも奇妙に合致すると思うからです。(バカですな。「言わぬが花」なのに。)



同族企業の人生模様も含め)と時節に見合ったタイムリーな企画本です。周知のように「品格」ブームに火をつけたのは「国家の品格」藤原正彦 著です。今年の新書(といえるかどうか)の売上ランキングでも三位だそうです。小生も一年前に本欄で同書を探り上げ、その時にも述べておきました。新渡戸型武士道を称揚していることからしても「国家の品格」は男性の品格についての記述、といえるのかもしれませんが。品格(品性)は本来個人に帰結します。

◇ 「三つ児の魂百まで」という故くて新しい人口に膾炙(かいしゃ)された言葉があります。人間にとって必要不可欠で重要な基本的感性(品性)は殆ど幼児期に植えつけられるという実証を得ての結論だそうです。そして、もともと基本的な教養「読み」「書き」「そろばん」を常に先行して修得させる事、いうまでもありません。

◇ 最近の日経新聞(十二月十一日付)の一面にその「そろばん」の代りに「金融教育」(転ばぬ先の生きた知識)とありました。経済新聞だからといえればそれまでですが、不埒そのもので

す。

◇ 品性を研ぐ場は第一に家庭です。夫婦、親子、兄弟の基本的人間関係(近親間でも人生行路には紆余曲折はあたりまえですが)の慈愛に満ちた切磋琢磨といえるでしょうか。原木市場新社長の紹介、及びインタビュー記事を探見いたしましても、川崎さんは名参謀(伯楽)を得て、一流の家族経営者だと思われま

◇ 「氏(うじ)より育ち」という言葉があります。「品性」を語る一つの側面かと想われます。誰しも生まれながらに同じ条件ではありませぬ。繰り返されるタフな日常生活を、どれだけ多くの人間と係る事が出来るかによって差が生じてくるように思われます。「どんな生も、波乱万丈も平穏無事も全てはその生に於ける日常生活を重ねることしか生まれません。そして波乱万丈はその内に意外な平穏を、平穏無事は反対におそろしい程の瞬間の波乱をふくんでいるものだろう。作者の筆は清澄に、その事実を描き続ける。芥川賞選考委員川上弘美氏が、山本昌代著「手紙」を評して。そうした日常生活を体験する事によってバランス感

覚(品性)が醸成されるということでしょうか。
“泣くが嫌さに笑って候”
ポー・マルシェ※
高級ユーモア(品性)を感じます。※十八世紀フラ

ンスの大劇作家。「フィガロの結婚」等の著作がある。以上自己のかつての行動分際を120%たなあげし

て。
(担当 総務委員 瀬古 穂)

メタボリックシンドローム

(その3)

これまでメタボリックシンドロームに関して自分の経験した方策について述べてきて頂いてきましたが、これまでのところ効果が出たという結果はないと思えます。

当初、杜仲茶を飲み直後は効果が出たような気がして半年余り続けたところ中性脂肪の値が元に戻ってしまい、ショックを受けてその後はその時流行っていたごま麦茶に変更し、そして又他人からやはり杜仲茶は効いたという話を聞き再び杜仲茶を飲む等全く一貫性のない気ままな気持ちで過

しておりますので今回特にご報告できることはございません。しかし聞いたところにより来年少年の健康診断ではメタボの診察項目も入るとの事でありまして今後この件に関心をもつて行きたいと思えます。

現在、胃腸の調子が少し悪い中ではありますが、毎日杜仲茶を飲用しておりますので変化がございましたら紙上にてご報告させていただきます。としたいと思います。
(恥ずかしながら現在、養命酒、青汁三昧も併用して飲用しております)
(事務局 柳瀬)

十月二十七日

丸宇木材紀州材展

速民製材 速水 祥久

今回当社の製品が初出品することもあり、丸宇木材主催の紀州材展を見学してきました。

紀州材の出品数は約一、四〇〇m³で、当日の売上げは約九、〇〇〇万円でした。造作材は単価が安いものの売れていましたが、一等角材は単価を下けても売れる気配が無く元落が多くありました。今まで出品している方々に話を聞いた所、「年々単価は下がる一方であるが、今回は特に大幅な値下げで来年度に関しての出品については改めて検討する。」という意見が多く出ていました。



市場の買方組合長の話によれば、「建築基準法の改正

で確認申請がなかなか通りにくくなっている。」との事です。それに構造材に関し、乾燥が当たり前で数年後には、乾燥表示・強度表示が標準になるのではという見通しでした。今後表示に関しての対策を今から検討していかなければならないのでしょうか。

県木連主導でアクリクイ材の対策を行っていますが、その関連で榊明和さんが乾燥・強度表示をした檜の3mの柱材を出品しておりました。アクリクイなしが二十五本。一・二面のアクリクイ材が二十五本。三・四面が二十五本。計七十五本です。

一・二面がm²当たり四万円で売ただけで、三・四面に関しては値段をつけても売れないという状況です。何もしないでアクリクイ材を売るといことは大変厳しいものがあり、何か付加価値をつける以外方法はないのでしょうか。

総評して、よく購入していたのは地方都市の市場の方々です。自分たちが製造した商品が末端の消費者に着くころにはどれだけ金額が上がっているのか。流通のコストを少しでも減らしていくことが、この地域のまた業界としての生き残る道なのではないでしょうか。

紀州材性能表示ラベル	
樹種	杉・桧
寸法	3000 × 120 × 120 B
含水率	D 15 ・ D 20 ・ D 25
曲げヤング係数	E 50 ・ E 70 ・ E 90 E 110 ・ E 130 ・ E 150
生産者	TEL
測定機関	和歌山県林業試験場
紀州材流通促進協議会	

第30回

児童生徒木工工作コンクール

平成十九年九月二十九日、三十日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催致しました。今回は、三十回ということで、記念として特別賞四点を設け、優秀作品を全二十五点とし、コンクール当日にはガラガラ抽選会を行い、二日間で約六百人の来場者を迎えました。本展では六六四点の木工作品を展示し、上位三点は新宮市役所と新宮信用金庫に展示した後、全国大会に出品する予定です。

す。木工展に協賛いただいた各団体の方々、各中小学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(竹中 俊介)

木工教室

毎年恒例となっております木工教室。昨年は七月十二日に開催し、キットはスノコ(二個一組)とレターラックの二種類用意しました。来場者数は約八十名でした。作成図は担当が書いています。

たのですが、(図の)寸法を間違えるというハプニングがありました。しかし、スタッフ一丸となって、手際よく対処したため支障なく、完成致しました。担当より、スタッフ・協力していただいたその他の方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(湊 一郎)



新宮木材協同組合理事長賞
作品名 『くじら』
三輪崎小学校6年
岩上 恭太



新宮市長賞
作品名 『かたつむり』
光洋中学校3年
平尾 浩己



知事賞
作品名 『鹿』
井田小学校3年
尾崎 有真

紀州材振興対策検討会

(株)山一木材 瀬古伸一郎

紀州材振興対策検討会は、和歌山県の「紀州材生産販売プラン」のうちの素材生産分野・素材流通分野・加工分野・販売分野のうち、特に販売分野について施策の検討を行うために設置されました。

和歌山県が紀州材の販売に携わるといふ初めての試みであり、販売対策は県と業界との強い連携がなければ成立しないという認識のもとに、県が提案する手法に対しそれぞれ業界が専門的立場から意見を述べるといふ形になっています。委員は県木連により選ばれた御坊、田辺、新宮、古座方面から木材業界八人のジュニア世代メンバーと、県庁林業振興課の課長、班長ら五名であり、新宮からは、川崎康弘、速水祥久と私が参加しています。

等、製品展示会、モデル住宅、ブランド化等について話し合いました。その場で委員が出した意見を和歌山県が平成二十年の施策に反映することになり、その内容についても別途お知らせします。今後二月最終の会議を予定しております。



竹中幸生商店

たけなか しゅんすけ 竹中 俊介 さん (30才)

住所：紀宝町鶴殿



三代目登場!

会社概要

昭和23年 祖父 竹中幸生が製材業を創業。昭和59年南牟婁郡御浜町に製材所を開設。その後、父 竹中康策が継承し現在に至る。

横顔

家業の製材業に就いて5年が過ぎました。長引く不況、そして建築基準法の改正に伴う住宅着工率の低下と、景況厳しい中ではありますが、どんな状況にも負けずに頑張っていくつもりです。皆様方には今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新緑会新会員紹介



熊野川町森林組合 たまき かずお 玉置 和夫 さん

生年月日：1973年(昭和48年)9月23日
住所：熊野川町日足
年齢：34歳
星座：天秤座
血液型：A型
趣味：スノボー

ひとこと：森林組合に入って早いもので昨年で満10年を超えました。この節目の年に新緑会に入会したのも何かの縁だと思いますので、今後とも仕事に新緑会に頑張っていきたいと思っておりますので宜しく御指導のほどお願いします。



(有)池田製材所 くぼ たかし 久保 太嘉志 さん

生年月日：1974年(昭和49年)11月14日
住所：串本町古田
年齢：33歳
星座：さそり座
血液型：B型
趣味：釣り

ひとこと：昨年より新緑会に入会させて頂いた池田製材所の久保です。古座川町とちょっと遠いので、参加できない時や、迷惑をかける時もあるかもしれませんが、よろしくお願ひします。

◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成19年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m小丸木材	7,000 (7,500)	6,900 (6,400)	6,800 (7,700)	4	6~12
	3m柱材	7,800 (8,000)	8,800 (7,700)	8,800 (8,100)	3	14~16
	4m中目材	12,700 (10,600)	11,500 (12,000)	10,000 (10,600)	4	14~28
	30cm上材	19,200 (20,200)	16,400 (15,000)	15,900 (13,800)	3~5	30~
	杉総平均単価	13,700 (13,500)	11,600 (11,800)	10,300 (10,700)		
檜	4m小丸木材	9,700 (12,200)	8,500 (11,200)	8,000 (11,300)	4	6~12
	3m柱材	12,500 (15,900)	10,900 (12,300)	12,800 (13,600)	3	14~16
	4m中目材	18,300 (21,400)	16,200 (19,400)	16,700 (20,300)	4	14~28
	30cm上材	63,500 (34,500)	33,800 (42,200)	34,700 (34,900)	3~5	30~
檜総平均単価	20,500 (21,800)	16,000 (17,500)	16,300 (18,900)			
総平均単価	15,800 (16,800)	13,400 (14,400)	12,500 (14,400)			

m³単価 ()は平成18年度

概況
 十月、十一月、十二月の入荷量はすこぶる順調である。改正建築基準法による建築確認の混乱の影響で住宅着工が進まず木材相場は月を追うごとに値を下げる。十二月一日の市には「頑張って集荷したので大量の買上げを」とセリの中で買方向に呼びかける。製材業者もこれ以上下がる材が出なくなることを心配して買方向による下支え姿勢が見られた。納め市(十二月十五日)は杉3m材は、最初のセリ始めから買方向の反応が鈍かった。相場は総じて弱含みに転じているもの、品不足が続いている桧(目詰まり材)中、大径木はいつになく強気配で推移する。特に八寸上、尺上材は引き合いが多く予想以上の活況を呈す。今後の見通しとしては、当面急激に出材量が減少の気配はない。製品の販売不振の長期化で製材所の体力も弱っており相場は下げに向かう可能性もあり。新春初市(一月十五日)には良材3,000m³以上予定しており買方向に一層の奮起をお願いし盛会祝に終了することを心より願うばかりである。

行事予定

一月十五日(火) 原木初市

新年の幕開けに相応しく豊富な優良材を取り揃え、お待ちしております。

※日程が変更しましたのでご注意ください。

二月七日(木) 末社詣り

組合恒例の末社詣り行事を旧暦の元旦に行います。

事務局
 休みのお知らせ
 十二月三十日(日)
 一月六日(日)

川原の家木材提供

去る十月十二日(金)地元の名産や銘菓などを販売する「川原家横丁」が熊野速玉大社近くにオープンしました。横丁には、かつて熊野川川原に実在した川原家を模した五棟が建ち、門前町のにぎわい復活を目指します。この事業に際し当新宮木材協同組合より本物に近い展示用の川原家一部分の木材の提供について協力させて頂きました。



横丁の町並み



提供の川原の家



横丁看板

第48回木霊塔建立供養式

10月15日組合恒例の木霊塔建立供養式を開催致しました。本年は第48回目を迎えました
が、本年の献木は(株)新宮原木市場にお願いし、杉の素晴らしい木霊塔(写真:左)をご献木頂き
ました。(株)新宮原木市場は昭和42年にも木霊塔を献木しておりますので、今回は2回目となり
ます。

当日は永年に亘り当供養式のご導師として勤めて頂きました本廣寺 清水正恵ご住職の突然の
ご逝去により、ご子息となる清水文雅新住職によりまして滞りなく厳かに供養を執り行うことが
出来ました。

式典終了後は、木工展表彰式、木遣り音頭の披露、盛大な餅投げ(写真:右)を行い最後に来
賓の皆様と親交を深める懇親会を行い一連の行事を終了致しました。



編集後記

- ◇ 平成二十年の新年号をお届けします。
- ◇ 今回カラーコピー導入に伴い製本までのすべての作業を事務局で行いました。
- ◇ 十月二十三日より、行っております「IT普及支援事業」一言で申すならば「パソコンのトラブルや疑問質問、よろず申受け致します」です。どのような些細な疑問でも受付致します。また、現在ホームページ作成支援において実施(有料)しておりますのでお気軽に事務局へお申下さい。
- ◇ 昨年の政界は首相の退任、民主党代表の辞意表明そして撤回等サブライズが続きました。トップの進退について何か考えさせられました。
- ◇ トップと言えば(株)新宮原木市場の社長に川崎俊一氏が就任致しました。今後の市場の舵取りをよろしくお願い致します。久保前社長には難しい時期を本当に
- ◇ お疲れ様でした。体には充分気をつけて後輩の指導をお願いします。業界と関係の深い木材副製品及び製材鋸目立の問題については日頃より関心を持って素早い対応が出来るように関わっていただきたいと思います。
- ◇ 新緑会が主催する児童生徒木工工作コンクールが昨年第三十回を迎えました。小中学生を対象とした地域密着のイベントとして定着致しております。これまで築いてきた会員の皆さんの頑張りに深く敬意を表します。
- ◇ 原油高、米国のサブプライムローンの問題等不安材料を抱えたまま年を越しました。今年の景気は如何に?
- ◇ 木協だよりをより内容の充実したものとするため、組合員皆さまの積極的なご投稿をお願いします。
- ◇ 本年もご愛顧の程よろしく
お願い申し上げます。

